

各施設の現状と課題(熊本市)

熊本市 経済観光局 スポーツ・イベント部 スポーツ振興課

計画概要

【目的】

本市が所有するスポーツ施設について、老朽化や利用状況を把握・分析し、今後の施設のあり方についての考え方を整理し、利用状況や人口動態など社会状況の変化等を踏まえ定期的に検証を行うことで、市民が生涯にわたってスポーツに親しめる環境を確保していくことを目的に策定

【計画期間】

令和6年度(2024年度)から令和13年度(2031年度)までの8年間
※中間年度の令和9年度(2027年度)に見直しを実施

【計画の位置づけ】

「熊本市公共施設等総合管理計画」に基づきスポーツ施設ごとの具体的な対応方針を定めるもの

【対象施設】

スポーツ振興課が所管・運営している40施設の基本方針について整理

計画策定の流れ

計画策定にあたっては、「熊本市公共施設等総合管理計画」の考え方を踏まえ、スポーツ庁の定める「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」に沿って評価を行いました。

【1. スポーツ施設の現況評価】

施設の現状について「安全性・機能性」「経済性」「耐震性」の分析に資する基礎情報の収集・整理を行い、施設の方向性及び整備手法を整理しました。

【2. スポーツ施設的环境評価】

利用状況、防災計画上の位置づけなどの情報を基に評価を行いました。更に希少性、代替性等の視点から施設における機能別の評価を行いました。

【3. 個別施設の基本方針の検討】

上記評価を踏まえ、最終的に個別施設ごとの基本方針と整備手法を策定しました。基本方針は「機能保持」「総量コントロール」のいずれかに分類し、整備手法を「機能改修」「長寿命化」「維持管理の効率化」「集約化」「廃止」に分類しました。

1. スポーツ施設の現況評価

現状情報の収集・整理

安全性・機能性

経済性

耐震性

1次評価

維持・改善

改廃

清水スポーツセンターは土砂災害特別計画区域内に立地していることから、施設の方向性を「改廃」とし、2次評価を実施せず「廃止」

2. スポーツ施設的环境評価

政策優先度

【利用状況・ニーズ】 【類似施設】 【防災計画上の位置づけ】 他

施設における機能別の方向性の検討

利用状況

多い
↑
利用者数
↓
少ない

拠点施設※
(10施設)

上記以外施設
(29施設)

希少性

※拠点施設とは、利用者が多く指定管理者制度により運営を行っている総合体育館他9施設

武道場・弓道場
(5施設)

左記以外施設
(24施設)

代替性他

グラウンド・テニスコート等
(24施設)

3. 個別施設の基本方針

2次評価

機能保持

現在の施設の機能を保持

総量コントロール 集約化・廃止を検討

【集約化】

- ・富合屋外運動場
- ・植木総合スポーツセンター（テニスコート）
- ・北部公園（テニスコート）

【廃止】

- ・寺迫地区健康文化施設
- ・清水スポーツセンター（※）
- ※ 1次評価にて改廃（廃止）

施設ごとの評価結果及び適用手法

管理番号	施設名称	機能	基本方針	整備手法
1	水前寺運動公園（野球場）		機能保持	機能改修
2	水前寺運動公園（競技場）		機能保持	機能改修
3	新屋敷公園	テニスコート	機能保持	機能改修
4	総合体育館・青年会館		機能保持	長寿命化
5	熊本城公園	テニスコート	機能保持	機能改修
6	北岡自然公園	弓道場	機能保持	機能改修
7	託麻スポーツセンター		機能保持	機能改修
8	城山公園	グラウンド テニスコート	機能保持	機能改修
9	城山運動施設	テニスコート	機能保持	維持管理の効率化
10	河内グラウンド	グラウンド	機能保持	維持管理の効率化
11	田迎公園		機能保持	機能改修
12	雁回公園	グラウンド	機能保持	維持管理の効率化
13	富合屋外運動場	グラウンド	総量コントロール	集約化
14	富合雁回館	体育館	機能保持	機能改修
15	飽田公園	グラウンド	機能保持	機能改修
16	南部総合スポーツセンター		機能保持	機能改修
17	城南総合スポーツセンター		機能保持	機能改修
18	城南B & G海洋センター		機能保持	機能改修
19	塚原グラウンド	グラウンド	機能保持	維持管理の効率化
20	高グラウンド	グラウンド	機能保持	維持管理の効率化

管理番号	施設名称	機能	基本方針	整備手法
21	総合屋内プール		機能保持	長寿命化
22	川尻武道館	武道場	機能保持	機能改修
23	天明運動施設	グラウンド 体育館	機能保持	機能改修 機能改善
24	龍田体育館	体育館	機能保持	機能改修
25	武蔵塚武道場	武道場	機能保持	機能改修
26	今熊公園	グラウンド	機能保持	維持管理の効率化
27	寺迫地区健康文化施設	グラウンド	総量コントロール	廃止
28	明德体育館	体育館	機能保持	機能改修
29	清水スポーツセンター	体育館	改廃	廃止
30	清水新地公園	グラウンド	機能保持	機能改修
31	清水新地テニスコート	テニスコート	機能保持	維持管理の効率化
32	田原スポーツ公園	グラウンド	機能保持	維持管理の効率化
33	植木総合スポーツセンター	グラウンド テニスコート 武道場	機能保持	機能改修 集約化 機能改修
34	吉松スポーツ公園	グラウンド	機能保持	維持管理の効率化
35	植木中央公園運動施設		機能保持	機能改修
36	植木弓道場	弓道場	機能保持	機能改修
37	明德グラウンド	グラウンド	機能保持	維持管理の効率化
38	北部武道館	武道場	機能保持	機能改修
39	北部体育館	体育館	機能保持	機能改修
40	北部公園	グラウンド テニスコート	機能保持	維持管理の効率化 集約化

	水前寺運動公園 (競技場)	水前寺運動公園 (野球場)	総合屋内プール (アクアドーム)	総合体育館・青年会館 (ナースパワーアリーナ)
施設画				
竣工年度	1951年(築73年)	1989年(築35年)	1998年(築26年)	1986年(築38年)
延べ床面積	3,970.25㎡	2,538.66㎡	24,486.50㎡	16,079㎡
収容人数 座席	約15,000人	約3,000人	約3,000人	大体育室 最大約 2,400人
使用実績 (R5)	45,967人	16,796人	224,433人	355,017人
駐車可能台数	250台(※競技場・野球場駐車場は共通)		400台	270台

水前寺運動公園（競技場）	
現 状	・ 市電・バスからのアクセスなど立地も良く、平日は個人利用、土日祝日には様々な大会が開催されるなど、子どもから大人まで幅広く利用されている。 ⇒陸上、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等 ・ 第2種公認の陸上競技場（大規模大会は県民運動公園陸上競技場で開催） ・ 指定緊急避難場所、広域避難場所、指定避難所（公設施設で唯一のペット避難所）になっており、防災面で重要な役割を担う。 ・ 都市公園内の運動施設。
課 題	・ 建設から73年が経過し、老朽化が進んでいる。 ⇒R2年度に観客席屋根部分の著しい劣化が見られたため撤去。 ⇒R4～5年度に外壁、内部壁天井等を改修 ・ 大規模な大会等を開催する際には駐車場が不足する。 ・ 法令等により建替えに制限（用途制限・建築面積等）あり。

【令和 5 年度（2023 年度）実績】

機能	利用区分	利用者数 (年間/人)	年間稼働日数
競技場	個人	34,274	268／268
	専用	9,644	
	会議室	2,049	
合計		45,967	

※令和 5 年度は、年末年始の施設休館日を除き、工事等により利用可能日数が減少（92 日間）

水前寺運動公園（野球場）	
現 状	・ 市電・バスからのアクセスなど立地も良く、土日祝日には様々な大会が開催されるなど、子どもから大人 まで幅広く利用されている。 ⇒軟式野球、ソフトボール ・ 都市公園内の運動施設。
課 題	・ 建設から35年が経過し、設備について老朽化が進んでいる。 ⇒ 放送設備、スタンド、トイレ等 ・ 大規模な大会等を開催する際には駐車場が不足する。 ・ 法令等により建替えに制限（用途制限・建築面積等）あり。

【令和 5 年度（2023 年度）実績】

機能	利用区分	利用者数 (年間/人)	年間稼働日数
野球場	軟式	12,598	273／316
	ソフトボール	2,293	
	会議室	1,905	
合計		16,796	

総合屋内プール（アクアドーム）	
現 状	・ 県内で唯一屋内公認50mプール・スケートリンクを有する施設であり、土日祝日には様々な大会が開催されるなど、子どもから大人まで幅広く利用されている。 ・ 指定緊急避難場所、指定避難所に加え、災害時には物資集積センターとなっており、防災面で特に重要な役割を担う。
課 題	・ 建設から25年が経過し、設備について老朽化が進んでいる ⇒雨漏り、空調、ウォーキングコース等 ・ サブプールに冷房設備がなく、ガラス張りのため夏は高温となる。 ・ 県内に代替施設が存在しない。

【令和 5 年度（2023 年度）実績】

機能	利用区分	利用者数 (年間/人)	年間稼働日数
プール	一部	49,229	314／314
	専用	27,691	
スケートリンク	一部	28,969	
	専用	2,500	
トレーニング室	一部	31,178	
	専用	0	
多目的フロア		2,024	
会議室		4,036	
合宿所		360	
水のテラス		3,058	
ジョギングコース		25,248	
遊びの広場		23,910	
多目的広場		26,230	
合計		224,433	

総合体育館・青年会館（ナースパワーアリーナ）	
現 状	・ 市電・バスからのアクセスなど立地も良く、平日は個人利用、土日祝日には様々な大会が開催されるなど、子どもから大人まで幅広く利用されている。 ・ 体育室、プール、弓道場など複数の機能を持つスポーツ施設。 ・ 指定緊急避難場所、指定避難所であり、災害時には大規模避難所としての役割を担っており、防災面で特に重要な役割を担う。 ・ 建物は熊本市であるが、敷地は熊本県と熊本市の共有。 ・ 都市公園内の運動施設。風致地区（江津湖）に立地。
課 題	・ 建設から38年が経過し、設備について老朽化が進んでいる。 ⇒雨漏り、外壁、空調、給排水等 ・ 大規模な大会等を開催する際には駐車場が不足する。 ・ 法令等により建替えに制限（用途制限・建築面積等）あり。

【令和5年度（2023年度）実績】

機能	利用区分	利用者数 (年間/人)	年間稼働日数
大体育室	一部	29,022	310／310
	専用	87,585	
中体育室	一部	30,715	
	専用	41,106	
小体育室	一部	30,845	
	専用	2,455	
弓道場	一部	9,606	
	専用	1,232	
武道場	一部	9,359	
	専用	5,011	
屋内プール	一部	45,852	
	専用	5,716	
トレーニング室		23,639	
スポーツサウナ		1,235	
青年会館		31,639	
合計		355,017	